STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的
特定保健指導対象者や要精密・要治療対象者など生活習慣リスク保有者数の減少を図る。
過半数を超える精神疾患の傷病手当を抑制する。

事業全体の目標
特定健診及び特定保健指導の受診率向上。
メンタルヘルス事業の強化

事業の一覧

職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関紙発行
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品使用促進通知
保健指導宣伝	諸事業指導宣伝
保健指導宣伝	保険推進委員会・事務担当者説明会
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	情報雑誌配本事業
保健指導宣伝	データヘルス計画
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	その他の事業（体育奨励）
疾病予防	健康診断
疾病予防	重症化予防対策
疾病予防	歯科予防対策事業
疾病予防	禁煙対策事業
疾病予防	肥満予防対策（健康ウォーク推進運動）
疾病予防	「風邪ひきゼロ運動」の展開
疾病予防	予防接種補助金交付
疾病予防	ファミリー健康相談
疾病予防	契約保養所
疾病予防	家庭常備薬斡旋
その他	会館運営管理・集会施設利用

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者										
	アウトプット指標													アウトカム指標			
職場環境の整備																	
加入者への意識づけ																	
保健指導宣伝	1,2,3,4,5,6,7,8	既存	機関紙発行	全て	男女	0～74	加入者全員	1	エ,ケ,ス	けんぽだよりを作成配布	ア,ケ	5月、9月、1月に発行 ホームページにも掲載	株式会社 社会保険研究所	-	継続	広報誌を家庭に持ち帰ってもらい、家族間で健康管理や保険制度の認識を深めるツールとする	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業） 《受診率等》被扶養者の特定健診受診率が年々低率ながら上昇傾向にはあるが全体的にまだ低い。 特定保健指導の終了率も低いが支援対象者の割合は徐々に改善がみられる。
	発行(【実績値】3回　【目標値】令和7年度：3回)-													- (アウトカムは設定されていません)			
	2,5,7	既存	ジェネリック医薬品使用促進通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	エ,キ,ク	新薬からジェネリックに切り替えた場合の差額通知を被保険者等に送付する 患者が後発医薬品を希望することが明記されたシールを配布する	ウ	6月、12月に実施	株式会社JMDC	-	継続	ジェネリック医薬品の利用促進	《ジェネリック差額通知》対象者が減少傾向に伴い、利用者数も年々増加傾向にあるが、切り替え率80%を前後している。
	ジェネリック医薬品利用率(【実績値】80.4%　【目標値】令和7年度：81.0%)-													- (アウトカムは設定されていません)			
	1,2,3,4,5,6,7,8	既存	諸事業指導宣伝	全て	男女	0～74	加入者全員	1	エ,ケ,ス	ホームページの管理監理・監修 健保ニュースの送付	ア,ウ,シ	-	株式会社 法研、株式会社 法研関西、株式会社 法研関西	-	ホームページの管理監理・監修 健保ニュースの送付	健康保険制度の周知 組合員の健康意識の向上	《ジェネリック差額通知》対象者が減少傾向に伴い、利用者数も年々増加傾向にあるが、切り替え率80%を前後している。 《受診率等》被扶養者の特定健診受診率が年々低率ながら上昇傾向にはあるが全体的にまだ低い。 特定保健指導の終了率も低いが支援対象者の割合は徐々に改善がみられる。 《メタボリスク》リスク保有者の割合が全国平均を下回っている。 血糖の服薬率の低さが顕著にみられる。 生活習慣リスクについては概ね改善傾向にある。 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	通知率(【実績値】100%　【目標値】令和7年度：100%)-													1 (アウトカムは設定されていません)			
	1,2,3,4,5,6,7,8	既存	保険推進委員会・事務担当者説明会	全て	男女	18～74	基準該当者	1	エ,ケ,サ,ス	総会・例会・幹事会の開催	ア,ウ,ク,ケ,コ,シ	4月(総会・例会・幹事会)、 5月(幹事会)、 6月（例会：算定基礎届説明会)、 10月(施設見学会)、 12月(幹事会)、 2月頃(例会：法改正等があった場合)	外部委託しない	-	継続	事業所担当者の健康保険・健康管理等に関する知識を広め、組合員の健康管理増進に繋げる	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	開催回数(【実績値】3回　【目標値】令和7年度：3回)-													1 (アウトカムは設定されていません)			
	1,2,4,5,8	既存	医療費通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	エ,ス	1～12月の医療費を被保険者宛通知する	ア,コ,シ	2月下旬発送	登録されていない事業者に委託する	-	継続	個々で状況を把握し、医療機関受診の仕方等の見直しを図る	《がん検診》要精密・要治療対象者の中で大腸がんと子宮がんの割合が多いが、医療機関受診者が半数に満たない。 悪性新生物の医療費は年々増加傾向にある。 《ジェネリック差額通知》対象者が減少傾向に伴い、利用者数も年々増加傾向にあるが、切り替え率80%を前後している。 《傷手》一人当たりの医療費は年々増加傾向にある。 傷病手当金の支給額が急激に増加しており、その中で精神疾患の割合が過半数を占めている。 精神疾患の医療費が増加傾向にある。 《歯科》歯科全体の医療費はわずかに減少傾向にある。 年代別に見ると年齢が上がるとともに医療費も高額になる傾向にある。
	実施回数(【実績値】1回　【目標値】令和7年度：1回)-													1 (アウトカムは設定されていません)			
	2,3,5,8	既存	情報雑誌配本事業	全て	男女	18～74	被保険者,基準該当者	1	エ,ク,ス	初めての子育てに必要な情報を提供	ウ,シ	第一子を出産した被保険者を対象に、子育てに関する情報誌を1年間無償配本する	株式会社赤ちゃんとママ社	-	継続	医療費抑制を図る	該当なし

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者										
	アウトプット指標													アウトカム指標			
	案内送付(【実績値】100%　【目標値】令和7年度：100%)-													1 (アウトカムは設定されていません)			
	1,2,3,4,5,6,7,8	既存（法定）	データヘルス計画	全て	男女	0～74	加入者全員	3	ア,イ,ウ,エ,オ,キ,ク,ケ,コ,サ,ス	健診データとレセプトデータを活用し分析結果を元に効果的な保健事業を展開する	ア,ウ,カ,ケ,コ,シ	分析専門業者と契約し、効果的な保健事業を実施する	株式会社JMDC、株式会社JMDC、株式会社JMDC	-	継続	各保健事業を実施、PDCAサイクルを展開し、長期的な医療費削減を図る	《受診率等》被扶養者の特定健診受診率が年々低率ながら上昇傾向にはあるが全体的にまだ低い。 特定保健指導の終了率も低いが支援対象者の割合は徐々に改善がみられる。 《ジェネリック差額通知》対象者が減少傾向に伴い、利用者数も年々増加傾向にあるが、切り替え率80%を前後している。 《メタボリスク》リスク保有者の割合が全国平均を下回っている。 血糖の服薬率の低さが顕著にみられる。 生活習慣リスクについては概ね改善傾向にある。 《傷手》一人当たりの医療費は年々増加傾向にある。 傷病手当金の支給額が急激に増加しており、その中で精神疾患の割合が過半数を占めている。 精神疾患の医療費が増加傾向にある。 《がん検診》要精密・要治療対象者の中で大腸がんと子宮がんの割合が多いが、医療機関受診者が半数に満たない。 悪性新生物の医療費は年々増加傾向にある。 《歯科》歯科全体の医療費はわずかに減少傾向にある。 年代別に見ると年齢が上がるとともに医療費も高額になる傾向にある。 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	実施率(【実績値】100%　【目標値】令和7年度：100%)-													実施率(【実績値】100%　【目標値】令和7年度：100%)-			
個別の事業																	
特定健康診査事業	2,3,4,5,6	既存	特定健康診査	全て	男女	40～74	基準該当者	1	イ,ウ,オ,ク,ケ,コ,サ	年度当初に自宅に受診券等案内を送付。	ア,カ,ク	未受診者に受診勧奨通知を自宅に送付。	株式会社 社会保険研究所	-	継続	加入者の健康増進・健康意識の向上 受診率の向上	《受診率等》被扶養者の特定健診受診率が年々低率ながら上昇傾向にはあるが全体的にまだ低い。 特定保健指導の終了率も低いが支援対象者の割合は徐々に改善がみられる。 《メタボリスク》リスク保有者の割合が全国平均を下回っている。 血糖の服薬率の低さが顕著にみられる。 生活習慣リスクについては概ね改善傾向にある。 《傷手》一人当たりの医療費は年々増加傾向にある。 傷病手当金の支給額が急激に増加しており、その中で精神疾患の割合が過半数を占めている。 精神疾患の医療費が増加傾向にある。 《がん検診》要精密・要治療対象者の中で大腸がんと子宮がんの割合が多いが、医療機関受診者が半数に満たない。 悪性新生物の医療費は年々増加傾向にある。
	案内発送(【実績値】100%　【目標値】令和7年度：100%)-													受診率(【実績値】36.8%　【目標値】令和7年度：38.5%)被扶養者及び任継被保険者			
特定保健指導事業	1,2,3,4,5,6	既存	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	エ,オ,ク,ケ,コ,サ	対象者に対し案内を随時送付。	ア,ウ,カ	外部機関より電話勧奨を実施。	登録されていない事業者に委託する	-	継続	加入者の健康増進・健康意識の向上 終了率の向上	《受診率等》被扶養者の特定健診受診率が年々低率ながら上昇傾向にはあるが全体的にまだ低い。 特定保健指導の終了率も低いが支援対象者の割合は徐々に改善がみられる。 《メタボリスク》リスク保有者の割合が全国平均を下回っている。 血糖の服薬率の低さが顕著にみられる。 生活習慣リスクについては概ね改善傾向にある。
	対象者案内(【実績値】100%　【目標値】令和7年度：100%)-													終了率(【実績値】14.1%　【目標値】令和7年度：19.0%)-			

予算科目	注1)事業分類	新規既存	注2)事業名	対象者				注3)実施主体	注4)プロセス分類	実施方法	注5)ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者										
	アウトプット指標													アウトカム指標			
保健指導宣伝	1,2,4,5,8	既存	その他の事業（体育奨励）	全て	男女	0～74	その他	1	ケ,ス	-	ア,ウ,ク,シ	-	外部委託しない	-	継続	プール入場割引券・アイススケート割引券・関西サイクルスポーツセンター利用割引券の発行、スポーツジム「ルネサンス×東急スポーツオアシス」の法人契約等をとおして、組合員の健康保持・増進を図る	《メタボリスク》リスク保有者の割合が全国平均を下回っている。 血糖の服薬率の低さが顕著にみられる。 生活習慣リスクについては概ね改善傾向にある。 《傷手》一人当たりの医療費は年々増加傾向にある。 傷病手当金の支給額が急激に増加しており、その中で精神疾患の割合が過半数を占めている。 精神疾患の医療費が増加傾向にある。 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	実施率(【実績値】100%　【目標値】令和7年度：100%)-													1 (アウトカムは設定されていません)			
疾病予防	1,2,3,4,5,6	既存	健康診断	全て	男女	18～74	加入者全員,被保険者,被扶養者,基準該当者,任意継続者	3	イ,ウ,エ,オ,ク,ケ,コ,サ	-	ア,ウ,カ,ク,ケ,コ,サ	-	京都工場保健会	-	継続 補助金限度額を、一般健診・入社時健診6,500円・生活習慣病健診15,000円に増額	組合員の健康管理・維持増進	《受診率等》被扶養者の特定健診受診率が年々低率ながら上昇傾向にはあるが全体的にまだ低い。 特定保健指導の終了率も低いが支援対象者の割合は徐々に改善がみられる。 《メタボリスク》リスク保有者の割合が全国平均を下回っている。 血糖の服薬率の低さが顕著にみられる。 生活習慣リスクについては概ね改善傾向にある。 《傷手》一人当たりの医療費は年々増加傾向にある。 傷病手当金の支給額が急激に増加しており、その中で精神疾患の割合が過半数を占めている。 精神疾患の医療費が増加傾向にある。 《がん検診》要精密・要治療対象者の中で大腸がんと子宮がんの割合が多いが、医療機関受診者が半数に満たない。 悪性新生物の医療費は年々増加傾向にある。
	案内送付(【実績値】100%　【目標値】令和7年度：100%)-													被保険者受診率(【実績値】94.4%　【目標値】令和7年度：95.3%)一次健診受診率			
	2,3,4,5,6	既存	重症化予防対策	全て	男女	0～74	加入者全員	1	イ,ウ,オ,ク,コ	要精密・要治療の該当者に病院への受診勧奨通知を送付	ア,ウ,カ,ケ	-	株式会社JMDC	-	健診結果データより要精密・要治療の該当者で未受診の方に受診勧奨通知を送付。	継続	《受診率等》被扶養者の特定健診受診率が年々低率ながら上昇傾向にはあるが全体的にまだ低い。 特定保健指導の終了率も低いが支援対象者の割合は徐々に改善がみられる。 《メタボリスク》リスク保有者の割合が全国平均を下回っている。 血糖の服薬率の低さが顕著にみられる。 生活習慣リスクについては概ね改善傾向にある。 《傷手》一人当たりの医療費は年々増加傾向にある。 傷病手当金の支給額が急激に増加しており、その中で精神疾患の割合が過半数を占めている。 精神疾患の医療費が増加傾向にある。 《がん検診》要精密・要治療対象者の中で大腸がんと子宮がんの割合が多いが、医療機関受診者が半数に満たない。 悪性新生物の医療費は年々増加傾向にある。
	受診勧奨通知回数(【実績値】5回　【目標値】令和7年度：5回)-													- (アウトカムは設定されていません)			
	2,4,6	既存	歯科予防対策事業	全て	男女	40～65	基準該当者	1	ク,ス	40歳から65歳まで5歳刻みで歯周病の自己採取検査を実施。	ウ,シ	-	外部委託しない	-	継続	加入員の健康意識の向上を図る	《歯科》歯科全体の医療費はわずかに減少傾向にある。 年代別に見ると年齢が上がるとともに医療費も高額になる傾向にある。 《メタボリスク》リスク保有者の割合が全国平均を下回っている。 血糖の服薬率の低さが顕著にみられる。 生活習慣リスクについては概ね改善傾向にある。
	実施人数(【実績値】267人　【目標値】令和7年度：280人)-													- (アウトカムは設定されていません)			

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額 (千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者										
	アウトプット指標													アウトカム指標			
	1,2,3,4,5,6	既存	禁煙対策事業	全て	男女	20～（上限なし）	加入者全員	3	ア,ケ,サ	希望者は３ヶ月禁煙に取り組み、達成者に奨励賞を贈呈する	ア	ホームページに案内バナーを添付	外部委託しない	-	継続	動脈硬化やがん等の生活習慣病予防	《受診率等》被扶養者の特定健診受診率が年々低率ながら上昇傾向にはあるが全体的にまだ低い。 特定保健指導の終了率も低いが支援対象者の割合は徐々に改善がみられる。 《がん検診》要精密・要治療対象者の中で大腸がんと子宮がんの割合が多いが、医療機関受診者が半数に満たない。 悪性新生物の医療費は年々増加傾向にある。 《メタボリスク》リスク保有者の割合が全国平均を下回っている。 血糖の服薬率の低さが顕著にみられる。 生活習慣リスクについては概ね改善傾向にある。
	案内実施率(【実績値】100%　【目標値】令和7年度：100%)-													1 (アウトカムは設定されていません)			
	1,2,3,4,5	既存	肥満予防対策（健康ウォーク推進運動）	全て	男女	18～74	基準該当者	1	ア,ケ,サ	4～6月、9～11月に実施	ア	-	外部委託しない	-	継続	1日1万歩以上を目標に日常的に運動を取り入れ、肥満対策に取り組む	《メタボリスク》リスク保有者の割合が全国平均を下回っている。 血糖の服薬率の低さが顕著にみられる。 生活習慣リスクについては概ね改善傾向にある。 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	案内実施率(【実績値】100%　【目標値】令和7年度：100%)-													参加率(【実績値】22.1%　【目標値】令和7年度：21.5%)-			
	1,2,5,6,7,8	既存	「風邪ひきゼロ運動」の展開	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ア,ケ,サ	-	ア	-	外部委託しない	-	継続	手洗い・うがいを励行し、羅漢予防に繋げる	《傷手》一人当たりの医療費は年々増加傾向にある。 傷病手当金の支給額が急激に増加しており、その中で精神疾患の割合が過半数を占めている。 精神疾患の医療費が増加傾向にある。 《ジェネリック差額通知》対象者が減少傾向に伴い、利用者数も年々増加傾向にあるが、切り替え率80%を前後している。 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	案内実施率(【実績値】100%　【目標値】令和7年度：100%)-													参加率(【実績値】19.2%　【目標値】令和7年度：19.6%)-			
	1,2,5,8	既存	予防接種補助金交付	全て	男女	0～74	加入者全員	1	サ,ス	-	ア,カ,シ	-	外部委託しない	-	インフルエンザは、接種料金のうち1,500円を引いた金額から、2,000円を上限とする（補助限度額見直し） 肺炎球菌感染症は、66歳以上を対象に、4,000円を上限とする（新規事業） 帯状疱疹は、50歳以上を対象に、4,000円を上限とする（新規事業）	予防することで医療費の抑制を図る	《傷手》一人当たりの医療費は年々増加傾向にある。 傷病手当金の支給額が急激に増加しており、その中で精神疾患の割合が過半数を占めている。 精神疾患の医療費が増加傾向にある。 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	案内実施率(【実績値】100%　【目標値】令和7年度：100%)-													接種率(【実績値】22.2%　【目標値】令和7年度：22.6%)-			
	2,5,6,7,8	既存	ファミリー健康相談	全て	男女	0～74	加入者全員	1	キ	健康に関するあらゆる相談に応じる	ウ	年中無休24時間体制専門職が対応する	株式会社 法研	-	継続	年中無休24時間体制で健康に関するあらゆる相談に応じることで、医療費削減に繋げる。	《メタボリスク》リスク保有者の割合が全国平均を下回っている。 血糖の服薬率の低さが顕著にみられる。 生活習慣リスクについては概ね改善傾向にある。 《傷手》一人当たりの医療費は年々増加傾向にある。 傷病手当金の支給額が急激に増加しており、その中で精神疾患の割合が過半数を占めている。 精神疾患の医療費が増加傾向にある。 《がん検診》要精密・要治療対象者の中で大腸がんと子宮がんの割合が多いが、医療機関受診者が半数に満たない。 悪性新生物の医療費は年々増加傾向にある。 《歯科》歯科全体の医療費はわずかに減少傾向にある。 年代別に見ると年齢が上がるとともに医療費も高額になる傾向にある。 《ジェネリック差額通知》対象者が減少傾向に伴い、利用者数も年々増加傾向にあるが、切り替え率80%を前後している。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者 対象事業所	対象者 性別	対象者 年齢	対象者 対象者	注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
	アウトプット指標													アウトカム指標			
	利用回数(【実績値】74件　【目標値】令和7年度：85件)-													- (アウトカムは設定されていません)			
	2,5,8	既存	契約保養所	全て	男女	3～74	基準該当者	1	ス	-	ク,シ	-	外部委託しない	-	一人一泊につき2,000円に、補助額を見直し	健康保持増進及び保養	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	案内実施率(【実績値】100%　【目標値】令和7年度：100%)-													1 (アウトカムは設定されていません)			
	1,2,5,8	既存	家庭常備薬斡旋	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ケ,ス	-	ア,シ	-	白石薬品株式会社、株式会社アーテム	-	一部の品目に対して組合補助を開始	軽微な疾患での医療機関受診を抑制	《傷手》一人当たりの医療費は年々増加傾向にある。 傷病手当金の支給額が急激に増加しており、その中で精神疾患の割合が過半数を占めている。 精神疾患の医療費が増加傾向にある。
	案内実施率(【実績値】100%　【目標値】令和7年度：100%)-													1 (アウトカムは設定されていません)			
その他	1,3,4,5,6,8	既存	会館運営管理・集会施設利用	全て	男女	18～（上限なし）	その他	1	イ,ウ,エ,オ,キ,コ,サ,ス	-	ア,ウ,カ,ク,コ,シ	-	外部委託しない	-	継続	加入者の健康保持増進を目的に集会施設・健康管理センターを運営する	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業） 《受診率等》被扶養者の特定健診受診率が年々低率ながら上昇傾向にはあるが全体的にまだ低い。 特定保健指導の終了率も低いが支援対象者の割合は徐々に改善がみられる。 《メタボリスク》リスク保有者の割合が全国平均を下回っている。 血糖の服薬率の低さが顕著にみられる。 生活習慣リスクについては概ね改善傾向にある。 《傷手》一人当たりの医療費は年々増加傾向にある。 傷病手当金の支給額が急激に増加しており、その中で精神疾患の割合が過半数を占めている。 精神疾患の医療費が増加傾向にある。 《がん検診》要精密・要治療対象者の中で大腸がんと子宮がんの割合が多いが、医療機関受診者が半数に満たない。 悪性新生物の医療費は年々増加傾向にある。
	実施率(【実績値】100%　【目標値】令和7年度：100%)—													1 (アウトカムは設定されていません)			

注１）１．職場環境の整備　２．加入者への意識づけ　３．健康診査　４．保健指導・受診勧奨　５．健康教育　６．健康相談　７．後発医薬品の使用促進　８．その他の事業
注２）事業名の後に「*」がついている事業は共同事業を指しています。また、事業名の後に「**」がついている事業はPFS事業を指しています。
注３）１．健保組合　２．事業主が主体で保健事業の一部としても活用　３．健保組合と事業主との共同事業
注４）ア．加入者等へのインセンティブを付与　イ．受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況）　ウ．受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況）　エ．ＩＣＴの活用　オ．専門職による健診結果の説明　カ．他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施　キ．定量的な効果検証の実施
ク．対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など）　ケ．参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備）　コ．健診当日の面談実施・健診受診の動線活用　サ．就業時間内も実施可（事業主と合意）　シ．保険者以外が実施したがん検診のデータを活用　ス．その他
注５）ア．事業主との連携体制の構築　イ．産業医または産業保健師との連携体制の構築　ウ．外部委託先の専門職との連携体制の構築　エ．他の保険者との健診データの連携体制の構築　オ．自治体との連携体制の構築　カ．医療機関・健診機関との連携体制の構築　キ．保険者協議会との連携体制の構築　ク．その他の団体との連携体制の構築
ケ．保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む）　コ．運営マニュアルの整備（業務フローの整理）　サ．人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置）　シ．その他